



受託中止のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
このたび、下記検査項目の受託を中止させていただきたくご案内いたします。
先生方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、弊社事情をご賢察のうえ、なにとぞ
ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

■ 変更日 2018年9月29日(土) ご依頼分をもって受託中止

■ 受託中止項目

CODE	項目名	備考	検査案内
7895	ノロウイルス抗原[EIA]	・下記新規項目の受託開始のため ・代替項目:(2593)ノロウイルス抗原[BLEIA]	P92

■ 代替項目(新規受託項目)の検査要項

CODE	項目名	検体必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値 単位	所要 日数	実施料 判断料	備考
2593	ノロウイルス抗原 [BLEIA]	糞便	専用採便容器 冷蔵	BLEIA法	(-)	(4~9月) 3~8日 (10~3月) 3~6日	未収載	*ア

検査場所：保健科学第2ラボラトリー(略号:*7)

●臨床的意義

ノロウイルスは冬季に流行する感染性胃腸炎の原因ウイルスで、大規模な食中毒事件を引き起こします。近年では、調理従事者を介した食品の二次汚染が原因と考えられる事例も増加しています。ノロウイルスによる食中毒の防止には調理従事者等のノロウイルス感染の有無を把握することが重要で、厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」には、「調理従事者等は、月に1回以上の検便を受けること。また、必要に応じ10月から3月にはノロウイルスの検査を含めること。」と記載されており、より高感度な遺伝子検査法による検査が推奨されていますが、遺伝子検査法は高コストで煩雑な操作を要することから十分には普及していません。

ノロウイルスは遺伝子群Ⅰ(GⅠ)～遺伝子群Ⅴ(GⅤ)の5つの遺伝子群に分けられます。このうち、主にヒトに感染するのはGⅠ、GⅡです。さらに、GⅠおよびGⅡは30種類以上の遺伝子型に分類されます。本法はPCR法と同程度の感度と幅広い遺伝子型に対する反応性を有する方法で、流行の主流を占めるGⅡ.4を含めGⅠ.1、GⅠ.4、GⅠ.8、GⅡ.1、GⅡ.2、GⅡ.3、GⅡ.5、GⅡ.6、GⅡ.12、GⅡ.13、GⅡ.16、GⅡ.19にも良好な反応性を示します。

本法の検出限界は、 10^5 から 10^6 コピー/g糞便 と推測され、PCR法と同等の感度を有することから、日常的な検便検査、すなわち大量調理従事者等のノロウイルス検査に有用と考えられます。

●専用容器と検体の取り方

